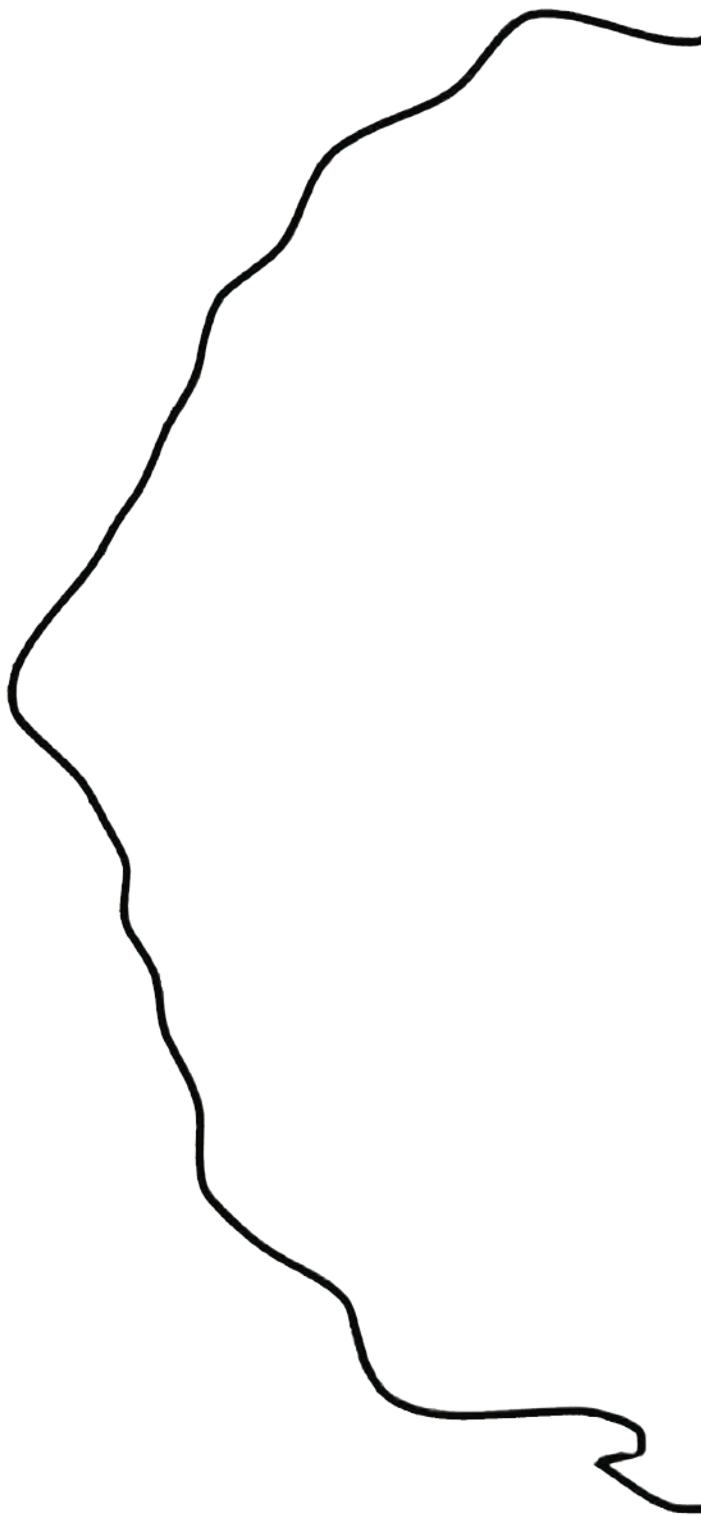
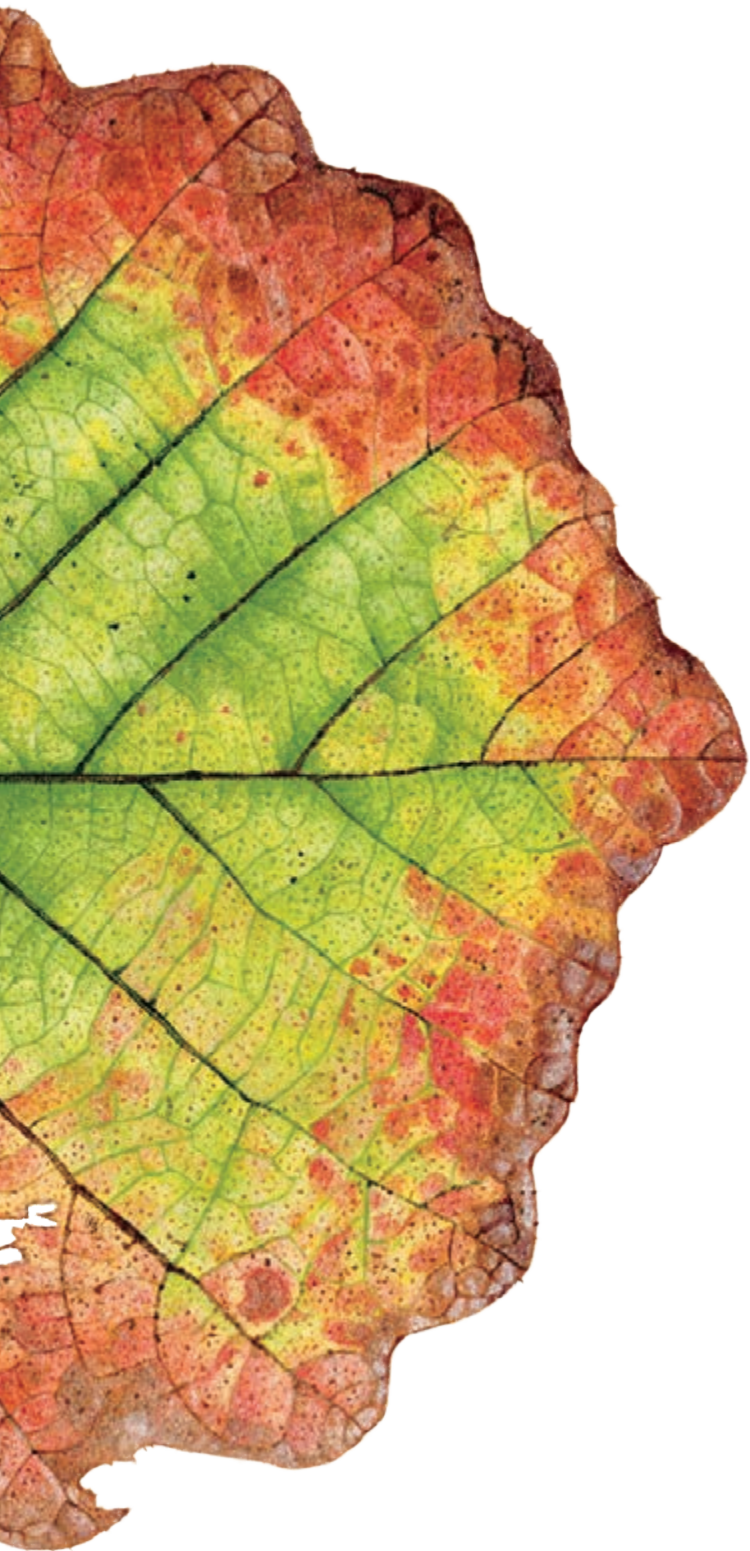


YAMATO Nature Circle



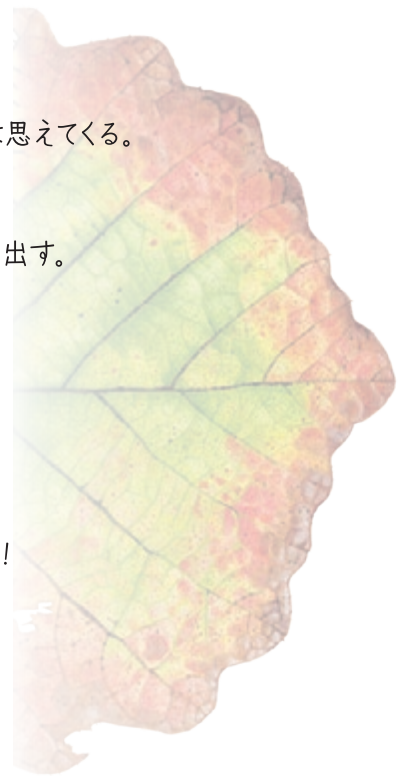
2026年4月

葉画家・群馬直美のヤマトビオトープ園の葉っぱたち Vol.86

— 絵と文 群馬直美 —

葉守の神の樹《カシワ その2》

カシワは古くから『葉守の神の樹』と呼ばれている。
落葉樹なのに、冬でも落葉せず枯れ葉が枝にとどまっているため、
いにしえの人たちはそこに神が宿っていると考え、神聖な樹とされてきた。
茶色くカラカラになった枯れ葉に、神さまを重ねるなんて……とてもステキだ。
葉っぱを見たままありのまま描いていると、傷跡や汚れは生きている証のように思えてくる。
汚れ方も傷つき方も同じものはない。だから省かず根気よく描いていくと、
最後には神さまが宿っているんじゃないかと思えるくらい的美しさで葉っぱが輝き出す。
赤、橙、黄色、緑、茶色が入り混じったヤマトビオトープ園のカシワの葉っぱ。
いつも葉柄を下にして縦長に見ていたカシワの葉を、何気なく横に倒したとき、
突然、くっきりとした横顔が浮かび上がった。
びっくりしてビオトープ園で採ってきた他3枚のカシワの葉や、
今まで描いたカシワの葉の絵も引っ張り出し、横に倒して見てみると——凄い!
どの葉にも横顔が浮かび上がる! 堀が深かったり、
鼻が大きかったり変化に富んだ『葉守の神』の横顔が現れた。
ほんの少し視点を変えるだけで、全く違うものが見えてくる不思議。
今回は、山河のような横顔と線画をむき合わせた表紙絵と相成りました。
次回《カシワ その3》は何か? お楽しみに〜。



《表紙の絵》カシワ その2(部分)

「カシワの葉先に『葉守の神』の横顔!」

- ・ヤマトビオトープ園にて2025年11月25日採集
- ・紙(ファブリアーノ エキストラホワイト極細目640g)
/テンペラ・マスキングテープ(1mm幅)
- ・size:380mm×270mm
- ©Naomi Gumma

群馬直美 GUMMA NAOMI プロフィール

高崎市生まれ。1982年、東京造形大学絵画科卒業。在学中に新緑の美しさ、その生命力に深く癒された経験から、“葉っぱ”をテーマとする創作活動に入る。「葉っぱの精神—この世の中の一つ一つのものは全て同じ価値があり光り輝く存在である」に則り、1991年テンペラで克明に描く現在の作風に至る。2006年より世田谷美術館「美術大学」で葉画講師として身近な葉の美しさ、素晴らしさを伝え続けている。2019年、『下仁田ネギの一生』の組み作品で、英国王立園芸協会主催植物画展で金賞及び最高賞受賞。著書に『言の葉 葉っぱ暦』『群馬直美の木の葉と木の実の美術館』『葉っぱ描命』『Dancing Vegetables 踊る野菜』他。東京都立川市在住。 <https://www.wood.jp/konoha/>